

## 特定非営利活動法人海の自然史研究所 第13期(2017年1月1日～12月31日) 事業報告

### ■事業の概況

教育事業では、進めてきたMAREやCOSIA、CRS、Poseidonの普及事業について、プログラムの実施や指導の要請に応じて実践をすすめてきました。学校や自治体の活動に出向いて海洋教育や環境教育の授業をおこない、また、指導者養成や指導者向けのコミュニケーションスキルアップ研修などもおこないました。宮城県南三陸町のオフィスでは、地元子どもたちや南三陸町への来訪者向けに教育活動を展開してきました。

研究事業では、学会発表をおこないました。

企画事業では、南三陸オフィスは南三陸町委託事業をおこないながら、情報紙を発行するなど海の理解をすすめる活動をすすめてきました。そのほか、地元の多団体のとりくみを支援する活動をおこないました。

2016年11月にオープンした南三陸・海のビジターセンターは、一年目の管理運営業務をすすめ、シーズンによる来訪者の動きなどがみえてきました。石巻・川のビジターセンターは準備室での業務をしてきましたが、2018年4月のオープンに向けて準備作業が本格化してきました。ビジターセンターの日々の活動はFacebookページで、施設紹介などはwebsiteで行っていますので、ぜひチェックしてみてください。  
[www.kawatouminovisitorcenter.jp](http://www.kawatouminovisitorcenter.jp)

### ■教育事業報告

2017年度は、以下のような講座・セミナーの開催、海洋教育プログラムの実践などをおこないました。

#### 1) 海洋教育プログラムの実践・海の授業の実施

2月	東京都	理科の特別授業として全4回で実施する授業の4回目。 MARE「サメとの遭遇」を実施。	東京大学教育学部附属 中等教育学校
3月	島根県	浜田市のはまだエコライフ推進隊の活動として「この先、海です。プロジェクト」を実施。	浜田市国府公民館
9月	埼玉県	11月の沖縄研修旅行のための事前講義。 亜熱帯地域の沖縄の自然とサンゴを育む海の特徴についての講話をおこなった。	大妻嵐山高校
10月	沖縄県	わくわくサンゴ石垣島との協働で「この先、海です。プロジェクト」を実施。	石垣市立平久保小学校
10月	沖縄県	わくわくサンゴ石垣島との協働で「この先、海です。プロジェクト」を実施。	石垣市立八島小学校

#### 2) 海洋科学コミュニケーション実践講座の開催

10月	宮城県	日本海洋学会。「第6回COSIA体験ワークショップ」。 「人の学びに配慮し、能動的に学習できる場をつくるワークショップ」をテーマとして開催した。
-----	-----	---

#### 3) オーダーメイド型 海洋教育実践者スキルアップ講座の開催

1月	沖縄県	第十一管区海上保安本部。「環境教室担当者研修」。2日間。 海上保安庁の「海洋環境保全教室」担当者向けの教える技術習得研修。
----	-----	--

5月	宮城県	第二管区海上保安本部。「環境教室担当者研修」。2日間。 海上保安庁の「海洋環境保全教室」担当者向けの教える技術習得研修。
6月	沖縄県	第十一管区海上保安本部。「環境教室担当者研修」。2日間。 海上保安庁の「海洋環境保全教室」担当者向けの教える技術習得研修。
6月	函館市	8月に函館で開催する「海の科学教育ワークショップ」に向けた指導者の育成研修(第1回)。候補とするアクティビティを体験するワークショップを実施。
7月	函館市	8月に函館で開催する「海の科学教育ワークショップ」に向けた指導者の育成研修(第2回)。実施するアクティビティの進行練習と教材制作のワークショップを実施。

4) 修学旅行生向け海洋科学講義、フィールド学習プログラムの実施

7月	沖縄県	成城学園初等学校「夏の学校」での海洋学習プログラム。 サンゴ礁池の自然観察をおこなった。川歩きプログラムのサポートもおこなった。
11月	沖縄県	大妻嵐山高校 フィールド学習の事前講義。 サンゴについて、フィールド学習時のポイントについての講話をおこなった。
11月	沖縄県	大妻嵐山高校 フィールドでの海洋学習プログラム。 グラスボートによるサンゴ礁池観察とサンゴ養育施設でのサンゴ観察をおこなった。

5) 教育プログラム企画、教材の作成

1月 2月	島根県	島根県立しまね海洋館(アクアス)。「環境教育における「ESD 推進」のための実践的拠点支援事業(環境省)」。 2回の研修で、模範プログラムとしての「この先、海です。プロジェクト」の講師、グループワークのファシリテーターを担当した。
----------	-----	--

6) その他 海洋教育関連の研修など

3月	沖縄県	インターナショナル・スクール・オブ・アジア・軽井沢から、海洋保護に貢献する方法、海洋保護へのとりくみを知るためにプロジェクト UMI のメンバーが来訪。2日間にわたり、海洋教育アクティビティやフィールド実習をおこなった。
11月	沖縄県	独立行政法人国際協力機構 沖縄国際センターが主催する「平成 29 年度 JICA 課題別研修「保護地域協働管理を通じた脆弱な沿岸・海洋生態系保全」」での「環境教育における「伝える」技術/CEPA」を担当。 フィジー、キリバス、ミャンマー、パプアニューギニア、ソロモン諸島の沿岸及び海洋生態系保全業務に携わる中央および地方自治体の行政官、関係団体職員(NGO、研究機関等)からなる研修員向けの講座。「サンゴのテリトリーウォーズ」を題材に CEPA を学ぶ講座をおこなった。

7) その他 人材育成研修など

9月	愛知県	第四管区海上保安本部。部内研修の質の向上を目的に、講師となる役職の職員に向けて、教え方・伝え方を学ぶ研修を実施。
10月	栃木県	環境省関東地方環境事務所管内のアクティブレンジャー研修を実施。 各々の現場の特徴やステイクホルダーとの関係性を見つめなおし、今後の業務に生かすことを目的とする研修を実施。

南三陸オフィス

8) 海洋教育プログラムの実践・海の授業の実施

1月	気仙沼市立唐桑小学校 第1学年 海藻おしば講座
----	-------------------------

9) 来訪者向けの海洋教育プログラムの実践

4月	宮城県立村田高等学校 サケすごろく&レクチャープログラム 1年次宿泊学習での体験プログラムのひとつとして実施した。
7月	WWF・(株)カスミ主催 ネイチャーキッズ特派員「とうほく南三陸探検隊」 小学校4～6年生8名が南三陸町を訪れ、自然体験を通して多様な生物の生きる南三陸の海を知り、また、この地の水産業や人々の暮らしを学ぶ3日間のプログラムを企画して受入した。

## ■研究事業報告

2017年度は、以下の学会講演などの研究業績をあげました。

### 1) 学会発表

特定非営利活動法人海の自然史研究所, 2017. 地域の海に根ざした海洋教育実践のとりくみ. イベントB「海洋教育特別ポスターイベント -海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題-」. 日本海洋学会 2017年秋季大会, 宮城(仙台国際センター:2017年10月15日)

特定非営利活動法人海の自然史研究所, 2017. 三陸復興国立公園 南三陸・海のビジターセンターのとりくみ. イベントB「海洋教育特別ポスターイベント -海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題-」. 日本海洋学会 2017年秋季大会, 宮城(仙台国際センター:2017年10月15日)

塩見浩二・今宮則子・平井和也, 2017. 海洋科学コミュニケーション授業の実践～海洋教育プログラムMAREを用いた主体的・対話的で深い学び～. イベントB「海洋教育特別ポスターイベント -海洋教育・アウトリーチ活動の実践と課題-」. 日本海洋学会 2017年秋季大会, 宮城(仙台国際センター:2017年10月15日)

## ■企画事業報告

### 南三陸オフィス

#### 1) 環境調査業務…南三陸町委託事業(3月で終了)

南三陸町の沿岸海域において、水質、水産物の状況を定期的に調査し、水産業の復興を左右する沿岸海域の環境及び水産物について基礎的な情報を得るための調査業務を受託しておこなっています。

水産物の放射性物質濃度スクリーニング検査	月～金の週4日程度	
志津川湾水質調査	月2回(1月～3月)	志津川湾内3地点

※ 水産物の放射能物質濃度スクリーニング検査結果については、海研のブログにデータをアップしていません。

#### 2)「南三陸どっちゃん通信」の発行(第8号で休止)

地域の魚を知って魚食を増やすこと、地域の海への親しみを持ってもらうことを目的に、町の海に関する幅広い情報を掲載した情報誌を企画し発行しています。

発行月：2月(第8号)
発行部数：1000部
配布先：町内鮮魚店をはじめとする各種店舗、観光協会、宿泊施設、公共施設など

#### 3) 南三陸味わい開発室プロジェクト…市民創造ファンド 東日本大震災復興支援助成

2016年度まで進めてきた、地元の水産物を使ってのメニュー開発と地域食材のPRなどの味わい開発室プロジェクトを発展させ事業化するために、「雑魚食堂」という企画を考案してトライアル的に実施しました。「雑魚食堂」を運営するための講習会をおこない、また、プログラムとしての実践もおこないました。

1月	海のビジターセンター	料理教室の開き方教室
7月	海のビジターセンター	雑魚食堂プログラム(とよまコミュニティ運営協議会)
9月	海のビジターセンター	雑魚食堂プログラム(学習院女子大学)

#### 5) 他団体への協力

2月	東北再生「私大ネット36」「エコツアーの作り方」レクチャー 「保呂羽山トレッキング」フィールドワーク 東北再生「私大ネット36」のおこなう「ひと味ちがう私だけの旅づくり」をテーマとするスタディツアーに協力しました。
8月	大正大学人間環境学科環境政策コースフィールドワーク「荒島散策」講師
8月	戸倉公民館主催事業キッズ・チャレンジ「海藻おしぼを作ろう」講師
11月	水と緑の環境フォーラム・ものう 川ガニと新そばを食べながら北上川を語る会「北上川の植生について」講師

### 川と海のビジターセンター

フィールドミュージアム運営協議会は、ビジターセンターを核とするこのエリアでの自然体験活動を通して、エコツーリズムおよび環境教育を面的、複合的に推進することにより、自然環境保全および地域の活性化に寄与することを目的として、この地域に関わる異なる主体により運営されています。現在の会員は、石巻市・南三陸町・環境省・海研の四者です。私ども海研は、この協議会の事務局を担当し、フィールドミュージアム運営協議会の事務管理とともに、協議会がビジターセンターで実施する事業について推進しています。

さらに海研は、環境省からビジターセンターでの案内業務と施設維持管理を請け負うことになり、協議会の事務局業務とともに一体的な管理運営をおこなっています。

#### 1) 「南三陸・海のビジターセンター」の一年目の本格運営をおこなっています。

2016年11月19日に南三陸・海のビジターセンターが供用開始となり、今期はいよいよ本格的なビジターセンター業務となっています。入館数は、2017年1月から12月までで9,049人となっています。(2018年1月末時点では10,135人、1万人を超えました。)

石巻・川のビジターセンターは、2018年4月18日がオープン予定となっています。2017年度は、「WE ARE ONE 北上」(石巻市北上町十三浜)のシェアオフィスを借りて準備室とし、運営を継続しました。

#### 2) ビジターセンターでは、事業運営をおこなう組織「フィールドミュージアム運営協議会」として、下記のようなイベントや行事などをおこないました。

1月	月例イベント(海のビジターセンター(以降、「海」)):水鳥たちのウェットランド食堂 月例イベント(川のビジターセンター(以降、「川」)):皿貝川バードウォッチング その他、自然かるた、クップ、魚へん漢字書き初め、影絵水族館
2月	月例イベント(海):My バードを探そう!作ろう! 月例イベント(川):湧き水を探そう! その他、節分豆まき、ギモーブ作り&海藻バイキング、貝殻おひなさまを作ろう、リスクマネジメント講座
3月	月例イベント(海):早春!シーカヤック 月例イベント(川):手作り塩でポリパン作り その他、海藻おしぼ教室、フィッシュプリンティング、戸倉のミズアオイお話し会、木工教室
4月	月例イベント(海):神割クエスト

	月例イベント(川):大盤平ハイキング その他、カモフラージュを見抜け、海藻かるた、春の磯観察
5月	月例イベント(海+川):子ども春キャンプ その他、GW ワークショップ、春の磯観察、みちのく潮風トレイルウォーキングイベント
6月	月例イベント(海):磯の生き物観察会 月例イベント(川):磯の生き物観察会 その他、雌保呂羽山自然観察員、ビーチクリーン、浜クラフト
7月	月例イベント(海):SUP 体験会 月例イベント(川):皿貝川カヤック その他、クップ、ビーチクリーン、磯の生き物観察会、ウミガメセミナー
8月	月例イベント(海):神行堂山登山 月例イベント(川):クップ その他、夏の磯遊び、袖浜 SUP 体験会、クップ、ビーチクリーン
9月	月例イベント(海):雌保呂羽山ハイキング 月例イベント(川):ヨシ原 SUP 体験会 その他、夜のキャンプ場探検、ビーチクリーン、おさかなセミナー
10月	月例イベント(海):スノーケリング 月例イベント(川):SUP 体験会 その他、タッチプールで生き物観察、ビーチクリーン、自然の絵本読み聞かせ、袖浜クップ
11月	月例イベント(海+川):子ども秋キャンプ その他、雌保呂羽山ハイキング、一周年お茶っこ、ビーチクリーン、自然の絵本読み聞かせ、サケすごろく大会
12月	月例イベント(海):クップ&マイカストピンナ作り 月例イベント(川):牧山ハイキング その他、クリスマスオーナメント作り、ビーチクリーン、自然の絵本読み聞かせ、冬の野鳥観察会

### 3) ビジターセンターでの業務から派生した業務

5月	平成 29 年度第 1 回石巻市環境市民講座での講師 石巻の海についてとその資源の活かし方、エコツーリズムについて講演した。
6月	平成 29 年度第 2 回石巻市環境市民講座での講師 籠峰山での自然観察会を行なった。
7月	平成 29 年度第 3 回石巻市環境市民講座での講師 十三浜大室海岸にて清掃活動、海洋ごみに関する講座をおこなった。
8月	平成 29 年度第 4 回石巻市環境市民講座での講師 「この先、海です」プロジェクトの解説と体験をおこなった。
9月	南三陸森林管理協議会 植生および森林環境のモニタリング調査への協力 南三陸森林管理協議会が平成 27 年度に取得した FSC 国際認証に基づく植生調査が南三陸ネイチャーセンター友の会に発注され、その友の会に対して専門家派遣をおこなった。
9月	平成 28 年度第 5 回石巻市環境市民講座での講師 (株)地域環境計画との協働にて、ヨシ原の観察会を行なった。
9月～ 12月	石巻市環境課から北上川流域自然環境確認調査を受託し 9～10 月に実施。2018 年 3 月末を期限に報告書の作成を行なっている。

## ■その他の事業報告

1) オリジナルグッズ製作…市民創造ファンド 東日本大震災復興支援助成

海を題材にした以下のオリジナルグッズの企画・製作をおこないました。

アリストテレスのランタン ペーパーウェイト その他、ホヤネックレスやアメフラシ T シャツなど既存商品の追加製作
---

2) グッズ販売

海研で制作したグッズは、下記の場所で常設販売しています。

①オンラインショップ

いであるミュージアムショップ <https://ideal.marinelearning.org/>

②南三陸町観光協会みなみな屋(一部のグッズを卸し、店舗で販売されています。)

③南三陸さんさん商店街佐武商店(一部のグッズを卸し、店舗で販売されています。)

以 上